

福島電気商会

市  
神

秋田県五城目町  
朝市と城のある町  
みんなの町議会



晴天のもと市神祭で賑わう朝市

主な内容

- 6月定例会の概要 ..... 2
- 討論 ～議案に賛成・反対しました～ ... 3
- 常任委員会の焦点 ..... 4～5
- 一般質問に10名登壇 ..... 6～16

Contents

No.167  
2026.7.1

6月定例会は6月8日から15日まで8日間の日程で開かれた。

### 初日

- 2件の議員研修報告の後、荒川町長は行政報告で、デジタル専門監による職員研修の構築・実施
- 企業誘致活動推進員の委嘱
- 総合発展計画後期基本計画の策定に向けた町民アンケートの実施
- 防災マップの更新
- 医療相談アプリ「いつでもドクター」利用開始
- イオンスーパーセンター五城目店への子育て支援拠点施設の設置
- 農業経営継続支援事業の実施

### 2日目

一般質問に7名が登壇。町民福祉の向上、五城館の経営状況、関係人口増加の取り組み、クマ対策、農業振興、企業誘致、部活動の地域移行などについて質問した。

### 3日目

3名が一般質問に立ち、子ども家庭センター移転、大川の堤防工事、定住・移住施策について質問。

当局より議案5件、報告2件が上程された。

### 4日目

連合審査会のあと、各常任委員会を行った。

### 最終日

各常任委員長報告のあと、議案4件、報告2件を全会一致で可決、報告済みとし、議案1件に対し賛成多数で可決した。陳情2件は採択、1件は継続審査とした。また、人事案件13件に同意し閉会した。

# イオンへの子育て支援拠点 設置で議論が白熱

謝した。

○恋地大橋の補修  
などを述べた。その中で、6月5日の水道本管の破損による漏水とそれに伴う広範囲での断水について報告し、陳謝した。

謝した。

○農業経営継続支援事業の実施  
○恋地大橋の補修  
などを述べた。その中で、6月5日の水道本管の破損による漏水とそれに伴う広範囲での断水について報告し、陳謝した。

起立採決により賛成多数で可決



(佐沢由佳子)

## 定例会で決した主な内容

- 五城目町国民健康保険条例の一部改正
- 五城目町下水道条例の一部改正
- 令和8年度五城目町一般会計補正予算の主なもの  
子ども家庭センター事業 1億472万円  
農業経営継続支援事業 2000万円

# 討論 ～議案に賛成・反対しました～

## 可決 令和8年度 一般会計補正予算

教育民生常任委員会に付託された、令和8年度一般会計補正予算関係部分には賛成多数で可決すべきものとしたが、本会議で異議が出された。

イオンスーパーセンター五城目店への子ども家庭センターを含む子育て支援拠点を設置する計画が争点となった。反対討論2名、賛成討論を3名が行い、賛成多数で可決された。

### 反対討論 石川 重光

相談者のプライバシー確保や乳幼児健診の実施環境に課題あり、賃貸借契約終了令和13年3月以降の継続も不透明。また、小・中学生保護者への意向調査がなされず置き去りにされている。イオンへの移設の経費初年度1億472万4千円、テナント料など維持管理費が毎年約1千万円、財源は借り入れ（地方債）が主で、将来世代に1層の財政的影響を与えることから反対。

### 賛成討論 椎名 志保

今まさに支援を必要とする子育て世代へ施策を早期に届ける判断を評価。気軽に相談・交流できる環境づくりに加え、過疎債活用による財源確保や運営見直しも確認できた。担当職員の見解、官民連携による新たな展開、そして町長より町財政改革への覚悟が示されたことから賛成。

### 反対討論 小玉 正範

設置場所や施設機能の検討が十分と

は言えず、拙速な事業進行に懸念がある。DV相談や発達相談などプライバシーへの配慮が必要な業務を商業施設内で行うことへの不安に加え、遊び場設置の計画が含まれていない。既存公共施設の活用を含めた比較検討も不足しているため、反対。

### 賛成討論 佐沢 由佳子

様々な意見がある中、私自身も最後まで悩み判断した。担当職員の意欲や包括連携協定を活用した新たな展開、子育て世代アンケートで一定の理解が示されたことを評価。本事業をゴールではなく新たなスタートとして持続可能なまちづくりの議論につながることを期待し賛成。

### 賛成討論 工藤 政彦

イオンの空きスペースを活用し、相談機能や親子の交流の場を整備することで、子育て世代が気軽に利用できる環境づくりにつながる点を評価。既存スペースの活用により費用を抑えつつ必要な機能を確認することも意義深い。子育て支援の充実は町の将来への投資であると考え賛成。

### 賛成

- 石井和歌子、中村 司
- 佐沢由佳子、松浦 真
- 工藤 政彦、椎名 志保
- 斎藤 晋、石井 光雅
- 佐々木仁茂

### 反対

- 小玉 正範、伊藤 信子
- 石川 重光、館岡 隆

(議長は採決に加わらない)



映像の配信はこちら

## 国保税率改正(引き下げ)で 連合審査会

五城目町国民健康保険条例の一部を改正する条例制定案は「税」であることから、総務産業常任委員会に付託された。国保は、教育民生常任委員会の所管事項と関連するため、両常任委員会で連合審査することとなった。

### 米の価格が影響

**委員** 今年の繰越金が当初予算より増えた要因として、昨年度の米の収入増がある。一方で、米の収入は今後減少も予想される。減少した場合でも国保財政は安定的に運営できるか。

**当局** シミュレーション上は、収入変動を織り込んだ複数モデルで検討しており、一定程度の変動があっても対応可能な見通しである。

### 未病・予防対策は

**委員** 特定健診の受診率は以前は35%程度だった。現在のどの程度まで向上しているか。

**当局** 現状は約40%まで上昇している。75歳になり、国保被保険者を脱退する方もいるため単純比較は難しいが、健康推進課の積極的な働きかけにより着実に向上している。



各委員会の専門性を持った質疑が行われた

# 子育て支援課(こども家庭センター)イオンへ移転



利便性向上へ期待

**委員** 少子化が急速に進行する中、イオンスーパーセンター五城目店内へ「子ども家庭センター」を移転する意義は、

## 町長・副町長の出席を求める

令和9年4月開設予定とする子育て支援課(子ども家庭センター)移転案と事業費1億472万円を含む補正予算案が上程された。  
5月22日の全員協議会で報告され、6月定例会で議案が示された。十分な検討と審議時間が確保出来ず、拙速との意見があった。教育民生常任委員会へ付託され、審議となった。  
主な質疑は以下の通りである。

**委員** 将来的な撤退リスクや公共施設再編との整合性をどう図るか。

**町長** 本事業についても、公共施設再編を見据えた選択として位置付けている。将来的には行政需要の変化に対応し、高齢者福祉を含む、様々な用途への転換など柔軟に対応していく。

**委員** 事業費が初期投資約1億500万円、年間約1000万円の維持管理費が見込まれる。将来的な財政負担をどう考えるか。

**副町長** 現在の事業費は概算であり、今後、設計段階で精査すると共に、過疎対策事業債の活用やテナント料の協議を通して財政負担の軽減に努める。

その他多数質疑があり、賛成多数(賛成5人、反対1人)で可決すべきものと決した。



目の届く場所へ

(中村 司)

## 日頃の備えが大切

令和7年度一般会計繰越明許費の一部(防犯防災対策費663万円)の報告があった。

**委員** 事業内容と繰越理由は、

**当局** 最新の気象情報が反映されたものにするため「防災マップ」の完成が翌年度へずれ込んだもの。身近に置いて活用してほしい。

# 教育民生常任委員会

# 農業経営継続の支援をすすめる



農業機械の導入や修繕に補助

○業務処理等委託料 ……40万円  
集落支援活動の充実を図るため、郵便局と業務委託契約を締結するための予算を計上した。郵便局と連携した集落支援員の取組は、県内ではこれまでに事例が確認されていない。その活動内容について質疑があった。

**委員** 町では既に業務委託により集落支援員を設置しているが、今回の取組はいつから開始し、どのような活動を行うのか。

(小玉 正範)

## 危険空き家が大課題

危険空き家対策事業費100万円が計上。これは老朽化し、外壁の崩落、屋根の損壊などにより、通行人や隣家に損害を及ぼす危険性のある建物について、応急処置を公費負担で実施するもの。

**委員** 今後も危険空き家の増加が懸念される。基本的には所有者が責任を負うべきではないか。

**当局** 所有者が確定している建物については管理を促している。しかし、生活保護世帯などについては緊急処置として対応している現状である。

# 総務産業常任委員会

○スマート技術体系への包括的転換加速化総合対策事業費補助金 ……1268万円  
○農業経営継続支援事業費補助金 ……2000万円  
農業従事者の高齢化・担い手不足・生産コストの高騰・耕作放棄地の増加などの解決を目指し、国と県による農業経営への支援補助策2件について質疑した。

**委員** 山間・中山間地域の小規模農業者や新規就農者が申請しやすいよう要件の緩和を検討できないか。  
**当局** 現行制度では、65歳以上なら認定農業者が3名以上組むことを条件としている。65歳以上の個人でも後継者がいることを条件として、対象者を拡大する方向である。また、この他にも関係者のニーズを丁寧に聞き取り、柔軟に対応していきたい。

## 町内会活動を支援

**委員** コミュニティ助成事業の内容は。  
**当局** 新里町内会に239万9千円を助成する事業。整備する主な備品は、テント、刈払い機、除雪機など。  
コミュニティ助成事業とは宝くじの社会貢献広報事業として、自治総合センターが地域コミュニティを支援する活動



新里町集会所

## 郵便局が集落支援活動を

○業務処理等委託料 ……40万円  
集落支援活動の充実を図るため、郵便局と業務委託契約を締結するための予算を計上した。郵便局と連携した集落支援員の取組は、県内ではこれまでに事例が確認されていない。その活動内容について質疑があった。

**委員** 町では既に業務委託により集落支援員を設置しているが、今回の取組はいつから開始し、どのような活動を行うのか。

(小玉 正範)

# 「こども家庭センター」イオン 移転は、公約の実現か

町長 子育て世代へ一刻も早く施策届ける

**権名** 買い物ついでに立ち寄れる環境の提供には土日の利用など、これまでの役場の勤務時間に留まらない運営時間の設定が求められる。地域子育て支援拠点事業「こどもの木」も移転の考えであるなら、保

**権名** 「こども家庭センター」がイオン五城目店へ移転することは、「圧倒的に子育てを応援する町に」と掲げる町長の公約として、思い描く子育て総合支援施設の実現か。

**町長** 近年の厳しい財政状況や施設建設に費やす年月を鑑み、「今」まさに子育てしている世代、「今」支援を必要としている世代へ、一刻も早く施策を届けることが最優先であり、集客力の高いイオン店内での行政サービスの展開は、現実的で効果的であると判断した。

**町長** もりやまこども園や未就園児の保護者を対象にアンケート調査を実施。多くの世帯から「買い物ついでに立ち寄れる利便性」や「全天候型の遊び場」への高い期待が寄せられている。PTAや保護者会などで事業の目的・内容を周知し、子どもや子育て世帯の声を聴く場を設ける。

**町長** 「こどもの木」は、これまで同様支援員を配置し、きめ細かなサポートを継続する。担当課職員のローテーションで土日対応を含めた窓口開設を行い、利用ニーズに応じた人員配置を検討していく。

**権名** 設置の仕方に当事者たちの意見を反映させるため、事前に子育て世帯の声を聞く機会を設けるべきだ。ニーズ調査にもなる。



子育て世帯の大事な場所

育士・保健師の新たな採用が必要だ。マンパワーの増強など、人員配置をどう考えるか。

**町長** 建物の耐用年数を40年とした場合、15年は続くと考え、子育て支援拠点施設として継続していく。社会状況の変化に応じ、その都度求められる最適な選択をしていく。



官民が連携したまちづくりへ

**権名** 「イオンとはテナント契約の枠組みを超え、この町で暮らす人々、未来を担う子どもたちの笑顔を守るための『パートナー』として恒久的な関係を築いていきたい」と町長の行政報告にあったが、恒久的な関係はどこまでと考えるか。今後益々人口減少が進み、労働力の減少、購買力の低下、建物の老朽化が深刻になった際、その後の子育て支援拠点をどう考えるか。

**権名** 4月に恋地町内で痛ましい事案があった。取り残されていた住民がいたと言わざるを得ない。どう受け止め、今後町としてどうあるべきか。

**町長** 支援が必要な世帯で福祉などの住民サービスにつながっていない場合は、周囲からの情報で支援につながるケースが多い。支援を拒まれるケースもあるが、民生児童委員や地域住民と連携し、定期的な訪問・声掛けを実施している。今後は社会福祉協議会や集落支援員との連携体制を整え、情報把握に努め、このような事案を増やさぬよう対策を進める。

あなたにかわって  
聞きました

## 一般質問



しいな 志保 権名

一般質問動画はQRコードから

## 一般質問

# 10議員が登壇 我が町政を問う

### 一般質問とは？

- ・年4回の定例会において、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。
- ・答弁を含む一人当たりの持ち時間は60分で、事前通告制が採用されています。
- ・質問をするかしないかは、議員個人の判断によります。

### 質問者

#### 権名 志保 議員

- 町民福祉の向上は果たされるか
- 子育て支援の考えを問う
- 教育現場の現状は

#### 斎藤 晋 議員

- あったか五城目について
- 4階食堂の復活と活用を
- 懲罰委員会について

#### 石井和歌子 議員

- 空き家について話し合う機会の創出について
- 関係人口の増加への取り組みについて
- デジタル弱者の救済について

#### 小玉 正範 議員

- 今年のクマ対策は
- 町中心地の公園、公園法の適用は
- ふるさと住民登録制度について
- 男女共同参画社会の対策

#### 伊藤 信子 議員

- ふるさと納税で農業振興を
- 町民センターの駐車場拡大を

#### 中村 司 議員

- 企業誘致活動推進員雇用について
- 赤倉山荘存廃について
- 事務事業の見直し実施について

#### 佐沢由佳子 議員

- 学童保育の環境整備について
- 部活動の地域移行の進捗について
- 地域おこし協力隊の活用を

#### 石川 重光 議員

- こども家庭センターの移設について
- 朝市活性化支援員の活動成果と今後の取り組みについて
- 5月号「広報ごじょうめ」から職員配置表が消えた

#### 松浦 真 議員

- 大川堤防の工事は
- 子ども家庭センター移設について

#### 工藤 政彦 議員

- 人口減少対策の観点から、本町の移住・定住施策について
- 県管理河川・大川堤防復旧工事の遅延と住民不安への対応について
- 雀館公園観桜会の再開と、子どもを中心とした地域イベントについて
- 町道等の区画線（センターライン・側線）の整備について

\* 誌面の関係上掲載できなかった●印の質問については、町ホームページにて議会映像を配信しておりますのでそちらをご覧ください。

五城目町議会映像配信 [www.gojome-town.stream.jfit.co.jp](http://www.gojome-town.stream.jfit.co.jp)



(中村 司)

# 一般質問



すすむ 晋  
さいとう 齋藤  
一般質問動画はQRコードから

## 職員に対する 懲罰は軽すぎる

### 町長 再発防止と綱紀粛正を徹底する

**齋藤** 懲罰委員会の構成は。  
**町長** 職員の分限懲戒審査委員会規定に基づき、副町長を委員長とし、教育長、課長職3名程度の全員で5名程度の構成となる。

**齋藤** 懲罰規定はあるか。  
**町長** 交通事故以外に関しては懲罰規定書がなく、過去の事例及び周辺自治体などを参考に処分内容を考慮している。

**齋藤** 職員の懲罰について町長の考えは。  
**町長** 不祥事は町政への信頼を著しく損なうものであり、強い危機感を持ち「二人体制の徹底」やコンプライアンス意識の向上を全職員に指示し再発防止と綱紀粛正を徹底する。

### 4階食堂の復活と活用



安くておいしい食堂を

**齋藤** 職員のため・町民のため・議員のため4階食堂の復活を願う。

**町長** 町からの補助金もなくすべて職員互助会会計の中で賄われており、利用者の減少と原材料費の高騰などにより営業を終了した。再開は考えていないとのこと。また、町での運営は考えていない。

**齋藤** 職員食堂と・高齢者のための福祉弁当作りのために利用すべき。  
**町長** 職員互助会では再開については考えていないとのこと。

### あつたか五城目の経営状況は



みんなに愛される五城館へ

**齋藤** 業者に委託したらどうか。  
**町長** 食堂再開が議論される場合、業者委託も含めて検討するよう提案する。

**齋藤** 令和5年12月補正であつたか五城目に対し「諸費総務課関係」として、1730万円支出したが、その後の経営状況は。

**町長** 補助金を支出した第19期から黒字化し、今期第21期も黒字決算の見通しであると聞いている。

**齋藤** 五城館は、調理場も盛り付け場所も狭い。これでは宴会料理を出すのに不都合がないのか。  
**町長** 現場からも狭いとの声があるが、人口減少による宴会件数など売上げが減少傾向にあり、費用対効果を考えてると拡張不要との回答を得ている。町としても、改修はしない。その上で、あつたか五城目と連携し、宴会料理の向上に努める。

# 一般質問



いし い わ か こ  
石井和歌子  
一般質問動画はQRコードから

## 関係人口の増加への取組は

### 町長 先進事例を参考に研究していく

**石井** 町外の人との交流だけでなく、町在住者同士の交流も活発になることで新たな発見があるのではないか。各地区公民館や体育施設、コミュニティ施設の利用者グループ、サロンなど相互で交流会を開き、人間関係の再構築を促すことも必要と考える。

**町長** 住民同士の交流は、自主的・主体的な活動の中から生まれ、広がっていくことが大切であり、公共施設の利用環境の充実や情報共有の促進などを通じて交流活動を支援し、地域コミュニティの活性化につなげていく。

**石井** 地域おこし協力隊や集落支援員に外国人材を登用するなど、全世界とのつながりを意識した関係人口の増やし方を模索してはどうか。  
**町長** 本町では教育留学事業やJICA海外協力隊イン

ターンの受け入れなどを通じて、国内外の多様な人材との交流事業を実施している。一方で外国人材の登用に当たっては、受入体制の整備や地域との相互理解など、事前に整理すべき課題もあるため、現段階において具体的な計画はない。今後は、先進自治体の事例や国の動向を参考にしながら、国内外の多様な人材との交流や関係づくりにつながる取組について研究していく。



多様な人材との交流を（ババメベース）



スマホで検索してみよう

### 空き家について話し合う機会の創出へ

**石井** 全国的に空き家の老朽化による倒壊の危険や野生動物の隠れ家になるなど、生活環境への影響が増加している。空き家は所有者の個人的な問題とされがちだが、放置されると地域全体の問題になる。空き家所有者が孤立しないよう早い段階で手を打つ必要があると考える。空き家バンクの登録件数の増加につながるよう所有者や所有者予備軍・経験者、町や専門家を交え、気軽に意見を言い合える場を設けることが必要ではないか。

**町長** 年間約100件の空き家相談を受けており、その内容は管理方法、相続、売却・賃貸、解体補助金などが中心である。町窓口での相談受付

### デジタル弱者の救済を

**石井** スマートフォンやパソコンなどのデジタル機器を使いこなせないデジタル弱者への救済措置としてスマホ教室などがあるが、参加率は。  
**教育長** スマートフォンやタブレット、インターネットの利用講座は令和4年度からの延べ参加者は約500名（内約400名が五城目小学校児童）。高齢者向けのスマートフォン講座としては、令和7年度では率浦大学の講座に14名の参加。子や孫と通信し、使いこなしている高齢者も多いのではないか。

に加え、連携協定を締結している株式会社ジータイアドによる専門相談サービスなど、個別事情に応じた助言を受けられる体制が整っている。所有者ごとに事情が大きく異なることから、専門的な助言が課題解決につながるものと考えており、必要ときに相談できる環境の充実に努めていく。

# 一般質問

## なぜ西磯ノ目地区に公園がないのか

### 町長 3カ所に設置済みである



こだま まさのり  
小玉 正範  
(公明党)

一般質問動画はQRコードから

**小玉** 公園の必要性をどう考えているか。

**町長** 町中心地の公園は、都市公園法と都市計画法に基づいた公園であり、子供の遊び場だけでなく、災害時の避難場所や緑地の保全等の役割を持った重要な公共施設である。

**小玉** 公園設置には一律の設置基準があったはずだが、西磯ノ目地区に公園が無いのはなぜか。

**町長** 磯ノ目地区土地地区画整理事業により整備された地区であり、公園は西磯ノ目地区には、3カ所設置してある。

**小玉** その3カ所はいずれも整備されていないため、避難先にもできない。町内からの要望があれば公園を整備するのか。

**町長** 年に2、3回は草刈りをしている。公園施設は充足しているとの認識だ。



雑草が伸び放題の公園

### 今年のクマ被害防止対策は

**小玉** 今年のクマ出没は昨年よりも多い。被害防止対策として町民を安心させる対策はないのか。

**町長** 刈り払いや障害物を除去し、見通しの良い空間を作ること、クマの早期発見と人里への誘因防止をしている。町民へは、ホームページや広報を通じて、爆竹や鈴の着用など音の出るものを携帯する安全対策を呼びかけている。緊急銃猟訓練の実施は、訓練適地を猟友会と協議中であり、6月下旬から7月上旬の実施に向け準備を進めている。

馬場目川河川敷への箱わなの設置は、民家が近くにある

# 一般質問

## ふるさと納税で農業振興を

### 町長 返礼品の充実や情報発信の強化が重要



いとう のぶ子  
伊藤 のぶ子

一般質問動画はQRコードから

**伊藤** 現在の寄付額の推移は。

**町長** 令和5年度3648万円、6年度2185万円、7年度1672万円で減少傾向。

**伊藤** 基盤産業である農業、米を活用した取り組みは大きな可能性を持っているが、どう考えるか。

**町長** 米は重要な返礼品であると認識している。全国的に需要があることから重点項目に位置づけ、提供体制の充実に取り組んでいる。

**伊藤** 米が農産物に占める割合、リピーターの状況は。

**町長** 米の占める割合は約2割。リピート率は、米、地酒、鍋セットが高い。

**伊藤** 品質の高さに定評はあるが、他の自治体と比較する



返礼品のお米

と、商品構成や発信力の面で十分ではないと感じる。どのように認識しているか。

**町長** 米の品質の高さは評価されており、大きな強みである。ラインナップ、魅力の伝え方、情報発信は工夫の余地がある。ニーズに応じた容量、定期便の充実、ポータルサイトにおける写真紹介の改善、SNSの情報発信の強化が重要である。中間事業者を変更し、運営を開始している。

**伊藤** おいしい米として販売するだけでなく、生産者の顔が見える取組や地域の特色を生かしたストーリーを発信していくことが重要であると考える。

捕獲後の駆除ができないことから設置は考えていない。

### ふるさと住民登録制度活用は

**小玉** 今年秋から国への申請が始まる「ふるさと住民登録制度」の有利性は何か。町としての対応は。

**町長** 利点は、町にゆかりや関心を持つ方との継続的なつながりが築き易くなり、関係人口の拡大や地域活動の担い手確保、さらには将来的な移住定住の促進につながる点である。関係人口の創出・拡大に取り組んでおり、その取組をさらに発展させる可能性を持つと認識している。

**小玉** この制度に関し、次の提案をするがどうか。①移住者へのアンケートを活用し、町の魅力を発信。②制度利用者へ返礼品を割安にする。③町行事への参加を促す。

**町長** まちづくりアンケートを実施し、その結果を分析して、暮らしやすさ、地域の魅力を把握、情報発信や移住・定住施策に活用する。制度利用者への特典については有効であるが、制度の整合性を確認しながら探求していく。



みんなが住みやすい社会へ

### 男女共同参画社会への取組は

**小玉** 男女共同参画社会をどうとらえているのか。

**町長** 持続可能で活力のある地域づくりを進める上で重要課題の一つ。地道な啓発活動が、男女格差のない社会を実現するために重要であり、町広報やホームページなどで情報発信や講習会の開催などに取り組んでいく。

**小玉** 人口減少を食い止めるためにも男女共同参画社会の実現が大事であり、町として取り組める対策は何か。

**町長** 女性が「自分を活かせる」と感じる企業誘致や女性の起業支援により人口流出の減少につなげたい。また様々な分野に女性の視点を組み込み、住みやすい町を作り上げたい。

併いロータリーを駐車場として利用することはできないのか。

**町長** 利用者の接触事故の危険性があり、緊急車両が入れるようにするためロータリーを駐車場にする予定はない。



町民センターのロータリー

# 一般質問



なかむら つかさ  
中村 司

一般質問動画はQRコードから

## 赤倉山荘存廃 再考を求む

### 町長 慎重に検討を進めていく

本年3月定例会で、温泉設備のみを切り離し、別棟に平屋建ての小規模温泉専用施設を新たに整備する方針が示された。(概算事業費用2億1000万円・過疎債活用)  
赤倉山荘の令和7年度収支は指定管理料1430万円を除くと実質1317万円の赤字である。また一日の利用者は34・7人とある。

**中村** 町には泉質が異なる2つの民営温泉施設があり、影響は避けられない。赤倉山荘を廃止し、2つの民間施設で代替利用を進める選択はないか。

**町長** 廃止を含め様々な観点から検討してきたが、源泉は町にとって貴重な地域資源であり、将来にわたり維持していく必要があると判断した。今後は、民間施設との共存にも十分配慮し、施設の規模や



別棟温泉施設を検討中

運営方法などについて検討を進める。  
**新たな温泉施設は必要か**

**中村** 赤倉山荘林業協業センターが開業した昭和54年当時、町には五城目営林署があり、大小多くの製材所があった。林業・木材関係事業の変遷を鑑みれば、本来の目的は既に終えたのではないか。新たな温泉施設を建設した場合、過疎債償還財源6300万円に加え、赤字補填として10年間で約1億5000万円の負債を背負うことになる。  
町民にとって本場に必要施設か。

**町長** 時代と共に、利用形態や役割も変化していると認識している。新たな施設については、今後も財政負担を十分考慮し、町民利用や地域活性化の観点から慎重に検討を進める。



活躍に期待

### 企業誘致活動推進員に期待

**中村** 雇用に至った経緯は。

**町長** 雇用の場の創出と地域経済の活性化を図るため企業誘致が必要。長年にわたり企業誘致や産業振興に携り、豊富な経験とネットワークを有する元県職員を採用した。

**中村** どのような企業誘致を目指すのか。

**町長** 情報通信関連産業や製造業のサテライト拠点など。規模は中小・中堅企業からスタートアップ企業を想定。

**中村** 立地場所、雇用人数は。  
**町長** 既存の空き店舗や空き施設の活用を基本としながら、企業のニーズに柔軟に提案していく。雇用人数は業種や進出形態によるため、具体的な人数は定めていないが、若者や子育て世代の定住につながる雇用創出を目指す。

### 事務事業見直しの成果は

**中村** 令和8年度当初予算編成にあたって、事務事業すべてについて見直すとしていた。廃止した事業は。前年度予算金額でどれくらい削減したか。

**町長** 産業文化祭100万円、恋地スキー場198万円、わかすくらぶ446万円他総額で752万円を削減。

**中村** 再評価、見直しの実施基準は。

**町長** 244事業を「事務事業検証シート」により、妥当性・必要性・改善の余地・効率性・町民への影響の観点から各課ヒアリングを実施し、総合的に検討している。

### 地域おこし協力隊の活用を

**佐沢** わが町は、地域おこし協力隊の先進地域として知られ、多くの隊員が地域活動や情報発信、定住・起業など活性化に貢献してきた。これまでの成果をどのように評価しているのか。現在は長期の地域おこし協力隊の採用が行われていないが、人口減少や担い手不足が進む中、協力隊を採用し、活用する考えはあるか。

## 部活動地域展開の現状は

# 一般質問



さざわ ゆかこ  
佐沢 由佳子

一般質問動画はQRコードから

### 教育長 情報を整理し発信していく

**佐沢** 部活動の地域移行について、競技ごとの違いを含め地域の現状や課題をどのように認識しているのか。  
**教育長** 土日の運動部活動を地域指導者が担う「地域展開」として進めている。生徒数の減少により単独校での活動が難しい競技もある。五城目・井川・八郎潟による南秋野球クラブ設立に向けた協議が進められている。指導者の確保や活動費、移動手段、平日の活動体制、構成町村による事務分担など多くの課題がある。  
**佐沢** 子どもたちや保護者の不安や意見はどこが相談窓口になっているのか。今後どのように施策に反映していくか。  
**教育長** 地域展開は学校と地域が協働し、子どもたちの活



野球を楽しむ合同チーム

動を地域全体で支える発想で、それぞれが関わり支えあっている。南秋教育長会が相談窓口になり、情報を整理し発信していく。南秋モデルを構築していく。

### 快適な居場所づくりを

**佐沢** 学童保育は、1年生から6年生まで多くの児童が同じ場所で過ごしている状況。利用状況や課題をどのように認識しているか。現在のスタッフ配置や活動スペースで十分対応できていると考えているか。支援員の確保や働きやすい体制づくりをどう進めていくのか。



のびのびしたスペース確保を

**教育長** 「すずむしクラブ」の登録児童数は120名、平日の平均利用者数は約55名。遊びたい児童と勉強したい児童のすみ分けが難しく、落ち着いて過ごすことができない事が多かった。支援員の見守り体制も含めた環境改善や安全確保のため、現在は4〜6年生を小学校のメディアセンターに移動。低学年と高学年を分けることで、一人ひとりに応じた対応がしやすい環境になった。  
今年度に入り、支援員2名を採用。報酬引き上げによる待遇の改善も実施した。

**町長** 地域に新たな視点をもたらし、大きく貢献した。JICAの研修生を短期の地域おこし協力隊として受け入れ、外部人材の活用を継続しており、コミュニティの活性化につながった。今後も様々な課題に継続的に対応していくために、一定期間地域に関わり、地域や行政と連携して活動する、長期の地域おこし協力隊の役割も重要と考える。教育留学事業、生涯学習活動、公民館を拠点とした地域づくりも含め、ミッシェンを明確にし、採用に取り組んでいく。

# 一般質問



いしかわ しげみつ  
石川 重光

一般質問動画はQRコードから

## 保護者の声が届いているか

### 町長 アンケートで 一定の理解を得ている

**石川** イオン東北株式会社より役場へメールで「空きスペースを遊び場として無償提供したい」と提案があった。その経緯を問う。

**町長** 昨年12月2日にイオン側より提案を受けたことが契機となり、子育て拠点施設の選択肢の一つになり得ると判断した。3月議会後、具体的な計画を検討し、5月22日の議会議員全員協議会で計画を示した。

**石川** イオン店内への移設は、関係保護者からの要望に基づくものか、理解は得られたか。

保護者から商業施設内では、乳幼児の感染症への感染リスクが高まること、プライバシーの保護に不安を感じるという声がある。

**町長** こども計画策定時のワークショップなどにおいて、「子育て支援拠点の整備」や「安全な遊び場」を求める声があった。移転計画公表後、保護者アンケートを実施。その結果、利便性を評価する声が多く、方針に対する一定の理解と期待をいただいている。

**石川** 移設事業は町発展計画5ヶ年実施計画やこども計画（令和7年3月策定）などによるものか。

**町長** 計画策定時には予定していない。昨年12月2日にイオン東北株式会社からあった提案を好機と捉え、スピード感をもって進めていきたい。

**石川** 遊び場や事務室となる空きテナントの借用期間（賃貸借契約期間）は何年契約となるか。

多額の予算を投入し移設はしたが、わずか数年で借用できなくなるとの心配はないか。

**町長** 最初の賃貸借契約の間は、令和9年4月1日から令和13年3月31日までの4年間の契約を基本として進める予定。5年目以降の賃貸借契約は今の段階では出来ない。

契約期間については、再度イオンと協議する。



イオン店内へ移設予定の子育て支援課

## 朝市活性化支援員の活動成果は

**石川** 朝市活性化支援員の活動の成果をどう評価しているか。

**町長** 出店者との意見交換や新規出店者の掘り起こし、SNSによる情報発信などに取組んでいる。個別の働きかけにより出店に至った実績はないが、SNSによる朝市の魅力発信に一般の方や出店者からも多くの関心が寄せられている。令和7年度に新規の定期出店者が4名、臨時出店

者が46名おり、一定の効果があった。  
**石川** 来場者から買い物しやすい環境整備が期待される、今後の取組は。

## 「広報ごようめ」から職員配置表が消えた

**石川** 個人情報保護やカスタマーハラスメント対策として、不掲載の判断か。また、対応を適切と考えるか。

**町長** その一面もあるが、行政事務は個人ではなく、組織として執行しており、課単位で対応していく。

**石川** 町民生活に関りを持つ業務を担当している職員の名前を知る権利があると思う。紙面のみの掲載など対応は出来ないか。

**町長** 紙面とネットを物理的に切り離して情報を管理することは困難であり、紙面への掲載は考えていない。

## 大川堤防の工事は

**松浦** 工事はどのように進捗しているか。改めて入札結果および工事着手時期を明確にしてほしい。

**町長** 今回3回目入札で落札業者が決まった。水害から3年、今後速やかに工事着手してもらえよう、引き続き要望していく。

**松浦** 水害の影響箇所だけでなく、過去3年で新たに発生した雨水による崩れ箇所も含めて、工事内容を精査・協議するよう要望する。県河川担当・鈴木県議の尽力と、大川地区町内会の協力に感謝したい。

# 一般質問



まつうら まこと  
松浦 真

一般質問動画はQRコードから

## イオン内に遊具を備えた遊び場を作るのか

### 町長 包括連携協定の中で検討する

#### 費用対効果と代替案

**松浦** 1億円近くをかけて整備する必要があるのか。3年後にどのような拠点を目指すのか。

**町長** 子育ての機会に寄り添い伴走できる行政サービスを提供する必要がある。

**松浦** テナント費が年約1000万円、改装費1億円の初期費用がかかる。出生数が年20人を下回る現状で、同額を基金として積み立て、五城目町で出産し3年経過した家庭に1000万円を給付する政策の方が効果的ではないか。

**町長** 財源面の課題もある。提案として受け止めるが、伴走サービス充実の方向性は変わらない。



大仙市の事例を参考にすべき

#### こども基本計画との整合性

**松浦** 計画書の中身は具体的に「子育てにかかる経済的負担の軽減」が62・4%、「遊び場の整備」が56・0%と上位を占める。本施策で整合性は取れるのか。

**町長** 現金給付や各種無償化などの経済的支援を行っている。短期的な現金給付だけでなく、子育ての機会に寄り添い伴走できる行政サービスを提供することも必要である。

**松浦** 200平米程度に全天候型遊具を備えた遊び場を作るのか。

#### 包括連携協定の内容

**松浦** 協定の中身は具体的にどのようなものか。

**町長** 第1回ミーティングは5月18日に実施予定。以降6〜9月に実施予定で、11月頃の協定締結を目標としている。



水害から3年でようやく工事着手

あなたにかわって  
聞きました

# 一般質問



くどう まさひこ  
工藤 政彦

一般質問動画はQRコードから



早急の工事着手を願う大川堤防の復旧

## 移住・定住施策の推進を

### 町長 空き家バンク登録促進や 制度の充実を検討

**工藤** 人口減少対策として、本町の移住・定住施策の成果と課題をはじめ、若者や女性が住み続けたいと思える環境づくり、企業誘致や起業支援による雇用の確保、空き家バンクの活用や改修支援制度の拡充、さらに朝市や伝統文化などの地域資源を生かした関係人口の拡大を。  
**町長** 教育留学事業や関係人口創出の取組により移住や交流人口の拡大につながっている一方、住まいの確保や雇用の創出が課題である。子育て支援の充実や企業誘致、起業支援、テレワーク環境の整備を進めるとともに、空き家バンク登録促進や利活用支援制度の充実を検討し、地域資源を活用した関係人口の拡大を通じて移住・定住の促進を図る。

### 大川堤防復旧工 の早期着手を

**工藤** 豪雨災害で被災した大川堤防の復旧工事が長期化している。線状降水帯や集中豪雨による被害拡大の不安がある。県への働きかけや堤防の危険性を認識しているか。早期着工と住民への情報提供が必要ではないか。質問前に落札者が決定したことを踏まえ、一日も早い工事着手を求める。

### 観桜会の再開と 子どものイベントを

**工藤** 交流人口の拡大や地域活性化のため、雀館公園観桜会の再開や地域イベントの充実が必要ではないか。また、「子どもの祭典」や「子どもの雪まつり」は、子どもが集まる場所に保護者や地域住民も集まり、地域全体の活気につながる。子どもや子育て世代を中心としたイベントの充実を図ってはどうか。

### 町・県道の区画線 整備を

**工藤** 町内の道路でセンターラインや側線（白線）の消失・劣化が進み、安全面への影響が懸念される。整備状況や補修計画、通学路の安全確保や



放置されている白線工事（県道4号線）

県道における対応も求める。また、毎年の新学期前に通学路の区画線整備を進めるため、当初予算への計上も検討すべきと提案する。  
**町長** 除雪や経年劣化により区画線が薄くなったり消えている箇所があることは把握している。現在は交通量の多い1級町道を中心に対応したいと考えている。道路交通法改正への対応として補修予算を計上しており、可決後は9月1日の施行前までにセンターラインを中心とした補修を進める。通学路周辺については改めて点検を行い、補修の必要性を判断し、当初予算への計上も含めて検討していく。県道については、県がパトロールにより補修の可否を判断し対応している。

## 第2回臨時会

令和8年5月14日

### 付議案件

1. 物品売買契約の締結について  
・広域五城目体育館移動式バスケットゴール購入 3168万円
  2. 特別職の職員の給与並びに旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について
  3. 専決処分承認を求めることについて  
・町税条例の一部を改正する条例  
・国保税条例の一部を改正する条例  
・令和7年度一般 会計補正予算  
・灯油券購入助成事業（繰越）  
・物価高騰対策事業（繰越）  
・現年災害復旧事業（繰越）  
・令和8年度一般 会計補正予算  
・災害廃棄物処理費用 1億8000万円
- 報告案件**  
令和7年度五城目町下水道事業会計予算繰越計算書について  
全議案を全会一致で可決、承認、報告済みとした。

## 第3回 全員協議会

令和8年5月22日

### 協議案件

- 国民健康保険における税率改正について
- 子育て支援課（こども家庭センターのイオンへの移転について）
- 五城目町農業経営継続支援事業補助金について

### 報告案件

- 恋地大橋橋梁補修等について



こども家庭センター イメージ図

## 農業委員会の任命に同意

### 農業委員一覧

- 草 皆 義 彦 帝釈寺・認定農業者
- 館 岡 晃 下高崎・認定農業者
- 金子 成 敏 上山内・非認定
- 竹 内 治 子 恋地・中立
- 館 岡 恵 上高崎・認定農業者
- 伊 藤 信 子 町村・認定農業者
- 佐 藤 正 一 谷地中・認定農業者
- 伊 藤 春 美 町村・非認定
- 伊 藤 さくら 高千・非認定
- 工 藤 高 明 矢場崎・非認定
- 石 井 一 黒土・非認定
- 浅 野 正 大川・非認定
- 小 玉 仁 志 浦横・認定農業者

## 議員研修報告

### 地方自治の基本を学ぶ

- 【研修名】 市町村議会議員研修（3日間コース）  
「新人議員のための地方自治の基本」
- 【研修期間】 5月11日～13日
- 【研修先】 滋賀県大津市  
全国市町村国際文化研修所
- 【参加議員】 石井和歌子・伊藤 信子
- 【研修名】 地域づくりは人づくり
- 【研修名】 町村議会議長・副議長研修
- 【研修期日】 5月26日
- 【研修先】 東京国際フォーラム
- 【参加議員】 石川 交三・斎藤 晋



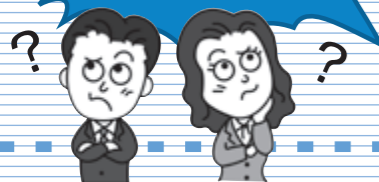
全国の市町村議員が集う研修所

（佐沢由佳子）

あれ

# なんとなくだったべが!

令和7年6月定例会一般質問より



**陳情と意見書**  
6月定例会では2件の陳情書を採択し、意見書を添えて関係機関に送付した。

**採択**  
◆ゆたかな学びの実現及び教職員定数改善並びに義務教育費国庫負担割合引き上げをはかるための、2027年度政府予算に係る意見書採択の陳情について

**陳情者**  
秋田県教職員組合  
執行委員長 小林久美子

**採択**  
◆地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する陳情

**陳情者**  
連合秋田男鹿潟上  
南秋地区連絡会  
議長 牧野 正人

**継続審査**  
◆ツキノワグマの市街地への出没増加対策の財源として、森林環境譲与税の積極的活用を検討することを求める陳情書

**陳情者**  
自然ネットワークあきた  
山下 友宏

**委員会提出議案**  
**可決**  
◆地方自治法の改正を求める意見書について

議会運営委員長  
佐々木仁茂

**提案理由**  
地方自治体の長が、病気や事故などにより意識表明できない状態下での辞職に関して、長の尊厳を守り、円滑な行政運営を確保するため、議会の不信任議決や住民の解職請求によらない法令を早急に整備することを強く求めるもの。

(佐沢由佳子)

**問**  
町の宣伝活動として、地域おこし協力隊や民間団体と連携し、動画制作などで移住プロモーションを強化する考えはないか。  
**1年前の答弁** 新聞やテレビなどで多くの取り組みが取り上げられている。今後もブランド力を向上させるために取り組んでいきたい。  
**現在** 今年度は、移住・定住に関する発信の充実を図るため、ホームページやSNSを活用した情報発信に取り組みんでいる。今後は地域おこし協力隊などの活用も視野に入れながら、移住者の声や町での暮らし、地域の魅力を紹介する動画コンテンツの制作を検討し、移住プロモーションの充実を図っていく。



秋田空港にも町のパンフレットを

**問**  
朝市ふれあい館の活用の仕方として、観光案内や交流の場を作るなど、有効な活用方法があると思われる。町の意向は。  
**1年前の答弁** 文化・交流などのコミュニティ活動を支える施設、市街地の活性化に寄与する施設としての活用に努める。用途変更も視野に入れ協議していく。  
**現在** 朝市の拠点としての機能を維持しながら、より幅広い活用に向け、施設の利用変更について関係機関と協議を進めている。



五城目町の顔として活用を

**問**  
五城館多目的ホールと厨房の改修に関する概算設計額が示されている。計画については慎重に判断すべきだが、町長の考えを問う。  
**1年前の答弁** 指定管理期間の満了や次期指定管理者の選定、改修期間などを考慮し、令和8年度上期までに判断する。  
**現在** 指定管理者である「あつたか五城目」との協議の結果、当面は大規模な改修を行わないこととした。



どう維持していくか

**問**  
人手不足対策として県では令和7年外国人材活用への助成制度を作る予定。町でも説明会開催などを検討しているか。  
**1年前の答弁** 町内企業の実態調査や外国人材に対する意識調査を検討している。  
**現在** 町内事業者の人材不足の状況については、湖東3町商工会が調査を実施している。今後はその結果も踏まえ、商工会が予定するセミナーなども活用し、人材確保に向けた対応に取り組んでいく。



人材不足解消を

## 検討始まる 議会改革調査特別委員会

人口減少や無投票議会の増加で、議員の定数について全国的な見直しが行われている。当町では令和6年3月の議会議員選挙で新たな立候補者が複数出馬し、成り手不足の状態ではない。しかし、急激な人口減少、議員活動に対し、町民からは議員定数に関する意見が多く寄せられており、今まさに議会のあり方が問われている。

今後も町民の信任を得られる議会であるよう改革に向けた調査を行うため、議長を除く13名の議員による議会改革調査特別委員会を設置し、議員定数、報酬、また議会活動全般に関して多角的な観点から検討が進められている（議長は参与として出席）。

### 検討事項

- ・議員定数
- ・議員報酬
- ・委員会へのオンライン出席
- ・議会公聴会の実施
- ・議会BCP策定
- ・その他

議会BCPとは  
大規模災害や感染症流行時でも地方議会の議決・監視などの機能を止めずに継続するため、議会や議員の役割・指揮命令系統・行動手段などを定めた「議会版業務継続計画(Business Continuity Plan)」

### スケジュール

- ・毎月2回程度幹事会を開催し、各事項について検討する。
- ・全体会を適宜開催。幹事会での検討内容を示し、全委員で協議する。
- ・議員定数、報酬に関しては改選の1年前である令和9年3月を目標に報告。
- ・その他の事項については令和9年9月を目標に報告。

以上、議会改革を推し進めるものである。

委員長 椎名 志保  
副委員長 松浦 真

(椎名 志保)

# わたしの居場所

## 残したい人とのつながり



まちむら 『町村子どもみこし』

昭和57年頃から5月5日の「こどもの日」に合わせ、町村の子どもみこしを行っている。当時は育成会に子どもがたくさんいて、お父さんやお母さんたちが金魚すくいやわたあめ、輪投げなどの出店が並び、地域みんなが楽しむ賑やかなお祭りだった。コロナ禍で開催できない年もあったが、近年は開催出来ている。子ども数はだいぶ少なくなり、以前の賑やかさと派手さはなくなってきたものの、地域の温かさや人と人とのつながりを強く感じられる大切な行事となっている。これからも町村町内会の伝統行事として、子どもみこしを受け継いでいきたい。



賑わっていた頃の子どもみこし（昭和60年）

（伊藤 信子）

# がんばってます

## 仲間とともに



五城目第一中学校 1年

ひもり 檜森 □さん

私は小学3年生のときにミニバスを始め、中学校でもバスケットボール部に入部しました。今は先輩たちと一緒に中総体に向けて毎日の練習に励んでいます。

練習や試合で私が特に意識して取り組んでいることは、声を出すことです。声を出すことで、雰囲気の良いチームになります。



私にはミニバスの時に届くことができなかつた目標があります。その悔しさを忘れず、中学校では仲間と力を合わせて目標を達成したいと思っています。支えてくれていた方への感謝の気持ちも忘れず、これからも全力でバスケットボールに取り組みでいきたいです。

（石井和歌子）

# 編集後記



ツバメが巣づくりに忙しく飛び回る姿を見ているうちに気付けば夏至を迎え、季節の移ろいの早さを実感している。小学校では、子どもたちが毎日水やりを続けるキュウリやトマトが元気に育っている。水不足が心配される田んぼにも、恵みの雨が降ることを願うばかりである。

6月定例会では、子ども家庭センターのイオンへの移転について、さまざまな意見が出され白熱した議論となった。今後議論が深まり、町民の皆さまにとってより良い場となることを期待したい。

議会広報編集委員会

石井和歌子 記

